

東北大学長 殿

神奈川県教育委員会教育長

平成31(2019)年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考(大学推薦)の実施について(通知)

このことについて、別添の要領により大学推薦による特別選考を実施します。

つきましては、貴学学生等に周知いただくとともに、推薦について御配慮いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、推薦可能人数については毎年見直すこととしておりますので御承知おきください。

1 貴学推薦可能人数

障がい者区分 人数に制限はありません

中学校・高等学校外国語(英語)区分 人数枠を設けない

特別支援学校区分 1人

2 応募(推薦)手続き

- (1) 各大学等において提出書類を取りまとめ、封筒表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、簡易書留により提出してください。
- (2) 同封の様式例を参考に送付状を作成してください。
- (3) 推薦する者がいない場合は、連絡の必要はありません。
- (4) 被推薦者には、県教育委員会のホームページ(教職員採用のページ)により、受験に関する最新情報を確認するようお願いください。

3 その他

- ・ 大学推薦制度は、必ずしも合格を保証するものではありません。
- ・ 横浜市、川崎市及び相模原市の採用試験とは異なりますので御注意ください。
- ・ 推薦にあたっては、県教育委員会のホームページ(教職員採用のページ)により平成31年2月1日付記者発表資料を御確認ください。
- ・ 大学推薦により申込みをした学生は、電子申請等による個別の受験申込みは不要です。
- ・ 県教育委員会のホームページ(教職員採用のページ) URL
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/cnt/f7272>

提出先及び問合せ先
神奈川県教育委員会
教育局行政部教職員人事課
教職員採用グループ 中野、山根
〒231-8509 横浜市中区日本大通 33
電話 (045) 210-8190
FAX (045) 210-8938

平成31（2019）年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考（大学推薦）実施要項

1 目的

この要項は、大学、短期大学、大学院及び教職大学院から、成績が優秀で優れた人間性を有し、教員として実践力を発揮することが期待できる者について学（部）長からの推薦を受け、特別選考を実施するにあたり、必要な事項を定める。

2 大学推薦の対象

- (1) 小学校教員区分
- (2) 障がい者区分（全校種等・教科）
- (3) 教職大学院区分（全校種等・教科）
- (4) 理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員区分
- (5) 中学校・高等学校外国語（英語）教員区分
- (6) 特別支援学校教員区分

3 選考基準等

特別選考試験の実施内容等については、別途要領を定める。

平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考
(大学推薦：障がい者) 要領

1 目的

この要領は、平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考のうち、大学（大学院、教職大学院及び専攻科を設置する短期大学を含む）から推薦を受ける障がい者区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種等・教科

全校種等・教科（詳細については、神奈川県ホームページの平成 31 年 2 月 1 日付け記者発表資料を参照すること）

3 推薦申込みの対象大学

教諭一種（専修）免許状の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）の教員を第 1 希望とし、次の (1) ～ (6) を全て満たす者

- (1) 平成 29 年度以降に大学等を卒業した者又は平成 31 (2019) 年度に大学等を卒業（修了）見込みの者
- (2) 受験しようとする校種等・教科の教員一種（専修）免許状所有者又は平成 32 (2020) 年 3 月 31 日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者
- (3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者
 - ア 神奈川の「めざすべき教職員像」（別紙資料）に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者
 - イ 学業成績優秀（在学時の成績「優」（80～100 点）相当の数が 50% 以上（小数第 1 位を切り捨て））の者
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - ・身体障害者手帳の交付を受けている者
 - ・都道府県知事又は政令指定都市市長が発行する療育手帳の交付を受けている者
 - ・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
- (5) 昭和 35 年 4 月 2 日以降に出生した者
- (6) 地方公務員法第 16 条（欠格条項）及び学校教育法第 9 条（欠格事由）に該当しない者

5 推薦人数

特に人数枠を設けない。

6 推薦手続等

(1) 提出書類

- ア 送付状（別添様式を参照のこと）
- イ 「推薦書」（別添様式を使用のこと）
- ウ 成績証明書（学校所定の様式）
- エ 「身体障害者手帳」、「療育手帳」又は「精神障害者保健福祉手帳」の写し
- オ 「論文用紙」（別添様式を使用のこと）に記載の論文題に関する 800 字程度の論文（原則本人自筆。代筆が適当な場合は、理由書を添付）
- カ 「受験申込書」（別添様式を使用のこと）（原則本人自筆）
- キ 「受験者カード」（別添様式を使用のこと）
- ク 本人への受験票等送付のための返信用封筒（角形 2 号）

※ 140 円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。

封筒（角形 2 号）の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期限

平成 31 年 4 月 26 日（金）（必着）

(4) その他

大学推薦区分で応募する者は、他の選考区分で重複して申込みを行うことはできない。ただし、大学推薦区分で応募し、第1次試験で不合格になった者については、「10 その他」を参照のこと。

7 第1次試験

大学からの推薦書、在学時の成績及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に5月末までに通知するとともに、不合格者で「障がいのある人を対象とした特別選考」の受験を希望する者へは、第1次試験用受験票を6月下旬までに、合格者へは第2次試験用受験票等を8月上旬までに送付する。

8 第2次試験

神奈川県ホームページで公表予定（平成31年4月中旬頃）の「平成31（2019）年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」を参照のこと。

また、詳細は、第1次試験合格者に別途通知する。

なお、第2次試験における選考は、公募による「障がいのある人を対象とした特別選考」受験者と併せて行う。

9 採用

(1) 原則として、採用候補者名簿の登載者は、平成32（2020）年4月1日付けで、神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の受験校種での採用とする。大学推薦受験者の大学院進学等による採用期日の延期は認めない。

(2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

10 その他

第1次試験で不合格になった者は、希望により神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の「障がいのある人を対象とした特別選考」の受験者（大学推薦での申込みと同一の校種等・教科）として扱う。その際、新たな申込手続きは要しない。

平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考
(大学推薦：中学校・高等学校外国語（英語）教員）要領

1 目的

この要領は、平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考のうち、大学（大学院及び教職大学院を含む）から推薦を受ける中学校・高等学校外国語（英語）教員区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種等・教科

中学校・外国語（英語）

高等学校・外国語（英語）

3 推薦申込みの対象大学

中学校・高等学校教諭一種（専修）免許状（外国語（英語））の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立中学校、高等学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）の教員を第 1 希望とし、次の (1) ～ (5) を全て満たす者

(1) 平成 31 (2019) 年度に大学等を卒業（修了）見込みの者

(2) 中学校教諭一種（専修）免許状（外国語（英語））、高等学校教諭一種（専修）免許状（外国語（英語））所有者又は平成 32 (2020) 年 3 月 31 日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者

(3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者

ア 神奈川の「めざすべき教職員像」（別紙資料）に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者

イ 学業成績優秀（在学時の成績「優」（80～100 点）相当の数が 50% 以上（小数第 1 位を切り捨て））の者

ウ TOEIC（IP テストは除く）730 点以上、TOEFL-iBT（インターネット版 TOEFL）80 点以上又は実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）準 1 級以上のいずれか 1 つのスコアや級の取得者

(4) 昭和 35 年 4 月 2 日以降に出生した者

(5) 地方公務員法第 16 条（欠格条項）及び学校教育法第 9 条（欠格事由）に該当しない者

5 推薦人数

特に人数枠を設けない。

6 推薦手続等

(1) 提出書類

ア 送付状（別添様式を参照のこと）

イ 「推薦書」（別添様式を使用のこと）

ウ 成績証明書（学校所定の様式）

エ 4 推薦の基準 (3) ウを証明する書類の写し

オ 「論文用紙」（別添様式を使用のこと）に記載の論文題に関する 800 字程度の論文（本人自筆）

カ 「受験申込書」（別添様式を使用のこと）（本人自筆）

キ 「受験者カード」(別添様式を使用のこと)

ク 本人への受験票等送付のための返信用封筒(角形2号)

※ 140円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。

封筒(角形2号)の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期限

平成31年4月26日(金)(必着)

(4) その他

大学推薦区分で応募する者は、他の選考区分で重複して申込みを行うことはできない。ただし、大学推薦区分で応募し、第1次試験で不合格になった者については、「10 その他」を参照のこと。

7 第1次試験

大学からの推薦書、在学時の成績、4 推薦の基準(3)ウのスコアや級及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に5月末までに通知するとともに、不合格者で中学校・英語又は高等学校・英語の一般選考の受験を希望する者へは、第1次試験用受験票を6月下旬までに、合格者へは第2次試験用受験票等を8月上旬までに送付する。

8 第2次試験

神奈川県ホームページで公表予定(平成31年4月中旬頃)の「平成31(2019)年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」を参照のこと。

また、詳細は、第1次試験合格者に別途通知する。

なお、第2次試験における選考は、公募による他の選考の受験者と併せて行う。

9 採用

(1) 原則として、採用候補者名簿の登載者は、平成32(2020)年4月1日付けで、神奈川県内公立中学校、中等教育学校又は高等学校(横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く)での採用とする。大学推薦受験者の大学院進学等による採用期日の延期は認めない。

(2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

10 その他

第1次試験で不合格になった者は、希望により神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の一般選考の受験者(大学推薦での申込みと同一の校種・教科)として扱う。その際、新たな申込手続きは要しない。

平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考
(大学推薦：特別支援学校教員) 要領

1 目的

この要領は、平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考のうち、大学（大学院及び教職大学院を含む）から推薦を受ける特別支援学校教員区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種
特別支援学校

3 推薦申込みの対象大学
特別支援学校教諭一種（専修）免許状の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立特別支援学校（横浜市立及び川崎市立を除く）の教員を第 1 希望とし、次の (1) ～ (5) を全て満たす者

(1) 平成 31 (2019) 年度に大学等を卒業（修了）見込みの者

(2) 特別支援学校教諭一種（専修）免許状所有者又は平成 32 (2020) 年 3 月 31 日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者

(3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者

ア 神奈川の「めざすべき教職員像」（別紙資料）に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者

イ 学業成績優秀（在学時の成績「優」（80～100 点）相当の数が 50% 以上（小数第 1 位を切り捨て））の者

(4) 昭和 35 年 4 月 2 日以降に出生した者

(5) 地方公務員法第 16 条（欠格条項）及び学校教育法第 9 条（欠格事由）に該当しない者

5 推薦人数

各大学につき、原則として 1 名とする。

ただし、神奈川県教育委員会が推薦人数を定める場合は、その推薦人数を限度として推薦できるものとする。

6 推薦手続等

(1) 提出書類

ア 送付状（別添様式を参照のこと）

イ 「推薦書」（別添様式を使用のこと）

ウ 成績証明書（学校所定の様式）

エ 「論文用紙」（別添様式を使用のこと）に記載の論文題に関する 800 字程度の論文（本人自筆）

オ 「受験申込書」（別添様式を使用のこと）（本人自筆）

カ 「受験者カード」（別添様式を使用のこと）

キ 本人への受験票等送付のための返信用封筒（角形 2 号）

※ 140 円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。

封筒（角形2号）の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期限

平成31年4月26日（金）（必着）

(4) その他

大学推薦区分で応募する者は、他の選考区分で重複して申込みを行うことはできない。ただし、大学推薦区分で応募し、第1次試験で不合格になった者については、「10 その他」を参照のこと。

7 第1次試験

大学からの推薦書、在学時の成績及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に5月末までに通知するとともに、不合格者で特別支援学校の一般選考の受験を希望する者へは、第1次試験用受験票を6月下旬までに、合格者へは第2次試験用受験票等を8月上旬までに送付する。

8 第2次試験

神奈川県ホームページで公表予定（平成31年4月中旬頃）の「平成31（2019）年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」を参照のこと。

また、詳細は、第1次試験合格者に別途通知する。

なお、第2次試験における選考は、公募による他の選考の受験者と併せて行う。

9 採用

(1) 原則として、採用候補者名簿の登載者は、平成32（2020）年4月1日付けで、神奈川県公立特別支援学校（横浜市立及び川崎市立を除く）での採用とする。大学推薦受験者の大学院進学等による採用期日の延期は認めない。

(2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

10 その他

第1次試験で不合格になった者は、希望により神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の一般選考の受験者（特別支援学校区分）として扱う。その際、新たな申込手続きは要しない。

(送付状 様式例)
平成 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長 殿

大学名
職・氏名 印

平成 31 (2019) 年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考 (大学推薦) にかかる推薦書等について (提出)

このことについて、次のとおり提出します。

- 1 推薦する学生 (院生) (※ 推薦の区分、学部・学科、氏名を記載する。)
- 2 提出書類
 - (1) 送付状 (※本紙を参考に作成してください)
 - (2) 推薦書
 - (3) 成績証明書
 - (4) (※中学校・高等学校英語区分のみ) 要領 4 推薦の基準 (3) ウを証明する書類の写し
 - (5) 論文用紙
 - (6) 受験申込書
 - (7) 受験者カード
 - (8) 返信用封筒
 - (9) (※障がい者区分のみ) 身体障害者手帳等の写し
- 3 問合せ先
 - ・担当部署名
 - ・担当者名
 - ・郵便番号、住所
 - ・電話番号
 - ・ファクシミリ番号

平成 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長 殿

大学

学長（学部長、院長）

印

推薦書（大学推薦）

平成31（2019）年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験特別選考（大学推薦）について、次の者が神奈川県公立学校教員を第1希望とし、推薦の基準を満たしていると認められますので推薦します。

区分 （該当する区分に○印を書き、校種等・教科を括弧内に記入してください。）	8 小学校教員	9 障がい者	10 教職大学院	11 理科、英語に優れた小学校教員	12 中学校・高等学校 外国語（英語）教員	13 特別支援学校 教員
校種等・教科（科目）（ ）						
ふりがな 氏名			性別		生年 月日	昭和 平成 年 月 日生
学部・学科			卒業（修了） 年月日		平成 年 月 日	卒業（修了）・見込

○人物に関する事項

評価項目	評 価 内 容
教育に対する熱意と使命感	
児童・生徒に対する理解	
豊かな人間性と人間関係能力	

○学業に関する事項（教職関連科目や教育実習の状況等）

--

○その他参考となる事項（神奈川県への志望理由等）（障がいにかかる配慮事項 ※障がい者区分のみ）

--

記載責任者 職・氏名	連絡先
印	

学校名

氏名

【論文題】

神奈川県では、共生社会の実現へ向けて、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応え、子どもたちが共に学び共に育つ教育を推進しています。このことについて、あなたの考えを述べなさい。
また、そのことを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組みますか。
600字以上840字以下で具体的に述べなさい。

(300字)

(600字)

(840字)

※鉛筆で濃くはっきりと書いてください。

平成31（2019）年度実施
神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験
受 験 申 込 書
(大学推薦用)

※第1次	※第2次	※実技

校種等・教科				※受験番号

選 考 区 分 (番号を1つ○で囲む)						校 種 等 (記号を1つ○で囲む)					教科(BCの受験者のみ)	
特別選考(大学推薦)						小学校 中学校 高等学校 特別支援 養護教諭						
小学校	障がい者	教職大学院	小学校(理英)	中・高(英語)	特別支援学校							科目(C地理歴史・公民・理科・工業の受験者のみ)
8	9	10	11	12	13		A	B	C	D	E	

ふりがな			生年月日	昭和 年 月 日生		写真貼付欄 1 申込みの際に、写真を貼ってください。 2 写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身脱帽、正面向きのものがが必要です。 3 写真の裏面に必ず氏名校種等・教科を記入してください。
氏 名			年 齢	平成32(2020)年4月1日現在 歳		
ふりがな						
現 住 所	〒					
	【必須】電話番号① () -		【任意】電話番号② () -			
上記の現住所で連絡がとれない場合の連絡先	〒					
	【必須】電話番号 () -		【必須】連絡先名			

最終学歴	学校名:			年 月 日 卒業(修了)・見込
	学部(研究科):	学科(専攻):		

受験する校種等 教科の免許状	種 類	教 科	取得(見込)年月	取得状況
			年 月	取得・見込
			年 月	取得・見込

【中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)の受験者のみ】

<保健体育実技試験種目選択表>

○6種目のうち器械運動・陸上競技・ダンス・水泳の4種目は必須
○残り2種目を右の表より選択し、空欄に○を記入
* 出願後の変更はできません。

種目	選択
柔道	
剣道	

性別

--

○ 特別選考(大学推薦)の第1次試験で不合格だった場合、申込みと同一の校種等・教科の一般選考(障害者区分で申し込んだ方は、障害者特別選考)での試験を受験することについて
(希望する・希望しない)

※ 希望するを選択した場合、新たな申込み手続きは不要です。

○ 神奈川県内(横浜市、川崎市及び相模原市を除く)の市町村立の小学校、中学校及び特別支援学校並びに神奈川県立の高等学校、中等教育学校及び特別支援学校での臨時的任用職員及び非常勤講師の登録依頼のために、私の個人情報(氏名・住所・電話番号・所有教員免許状等)を提供することについて
(同意する・同意しない)

※ 同意された方には、必要に応じて登録手続のための連絡を取らせていただく場合があります。

私は、要領に掲げてある推薦の基準をすべて満たしており、学(部)長からの推薦を受けました。この申込書で希望した神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験を受けたいので申し込みます。
なお、この申込書の記載事項に相違なく、本試験の結果等の情報を、出身大学に提供することについて同意します。
(この欄は、自筆で記入してください。)

平成 年 月 日 氏 名
(自筆署名)

＜＜ 受験申込書等記入要領（大学推薦用） ＞＞

- 1 ※欄は、記入しないでください。また、該当する項目は、○で囲んでください。
- 2 記入は、ペンかボールペン（黒又は青インク）を用い、楷書で記入してください。
- 3 「校種等・教科」欄は、「受験者カード記入例」の校種等・教科コード表を参照して、4桁の数字で記入してください。
- 4 「選考区分」欄の該当番号は、1つだけ○で囲んでください。
- 5 「校種等」欄は、該当する校種等の記号を1つだけ○で囲んでください。
「教科」欄は、中学校及び高等学校の場合のみ記入してください。
「科目」欄は、高等学校の地理歴史・公民、理科及び工業の場合のみ記入してください。
- 6 「年齢」欄は、採用時（平成32（2020）年4月1日現在）の年齢を記入してください。
- 7 「最終学歴」欄は、卒業（修了）又は見込みの短大・大学・大学院名と学部（研究科）・学科（専攻等）名を記入し、卒業（修了）又は見込の別を○で囲んでください。
- 8 「受験する校種等・教科の免許状」欄は、受験する校種等・教科の免許状について先に取得したもの（取得予定のもの）の種類、教科及び取得（見込）年月を記入し、取得・見込の別を○で囲んでください。
※ 「理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員」区分については、小学校教諭免許状の取得状況及び、中学校又は高等学校教諭免許状（理科又は英語）の取得状況を記入してください。
※ 「中学校・高等学校外国語（英語）教員」区分については、中学校教諭免許状外国語（英語）又は高等学校教諭免許状外国語（英語）取得状況を記入してください。
※ 複数免許の取得が条件になっている教科（4月中旬発表の実施要項を参照のこと）については、もう一つの欄にも記入してください。

《「種類」欄の記入例》

平成元年4月1日以降に、新教育職員免許法により免許状を取得している人

（例）小学校の2種免許状→小2種、中学校の1種免許状→中1種、高等学校の専修免許状→高専修

盲学校の2種免許状→盲2種、養護学校の1種免許状→養学1種、特別支援学校の専修免許状→特専修

平成元年3月31日以前に、旧教育職員免許法により免許状を取得している人

（例）小学校の1級普通免許状→小1普、中学校の2級普通免許状→中2普、高等学校の2級普通免許状→高2普

- 9 特別選考（大学推薦）の第1次試験で不合格だった場合には、一般選考（障がい者区分で申し込んだ方は、障がいのある人を対象とした特別選考）での試験を受験することを「希望する」又は「希望しない」の別を○で囲んでください。
- 10 登録依頼等のための個人情報の提供について、「同意する」又は「同意しない」の別を○で囲んでください。
- 11 受験申込書の写真貼付欄に貼る写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのものを、裏面に氏名、校種等・教科を書いてから貼ってください。受験票への貼付用と第2次試験用に同一の写真がさらに3枚（計4枚）必要になります（各自保管）。
- 12 中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）の受験者は、第2次試験の実技試験種目の選択がありますので、＜保健体育実技試験種目選択表＞の選択項目欄に合計2つ○をつけてください。選択した種目は必ず控えておいてください（出願後の変更はできません）。
- 13 署名欄に自筆署名してください。自筆署名できない場合は、その理由、代筆者の氏名及び受験申込者との続柄を任意の様式に記入のうえ、押印し、受験申込書に添付してください。
- 14 「受験者カード記入例」に従って、「受験者カード」の太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

- ◎ 申込記載事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがあります。
- ◎ 日本国籍を有しない人は、任用期限を付さない常勤講師としての採用となります。

31(2019) 受験者カード (郵送申込用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

C#		校種等・教科				※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
G	A								

氏名(漢字で記入)			
姓		名	
11	20	21	30

氏名(カタカナで記入。濁点(゛)、半濁点(゜)は1字として扱う)																										
姓	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	名	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55

生年月日							
年(西暦)				月		日	
56	57	58	59	60	61	62	63

最終学校コード					最終学校名				
64	65	66	67	68	69	104			

最終学校 (ア) (イ)		卒業(修了)年月					
学校	卒業	年(西暦)				月	
105	106	107	108	109	110	111	112

都道府県	
113	114

学校コード表

○該当する学校コードがないときは、「99999」を記入してください。
 ○高校、専門学校等を卒業の人は、「99999」を記入してください。
 ○大学院等修了(見込)の人は、同一大学名の学校コードを記入してください。

大 学		し 芝浦工業大学	A2069	と 東洋英和女学院大学	A2394
あ 愛知大学	A2165	島根大学	A0060	徳島文理大学	A2270
愛知学院大学	A2167	秀明大学 (旧八千代国際大学)	A2410	獨協大学	A2040
愛知教育大学	A0044	淑徳大学	A2043	鳥取大学	A0059
愛知淑徳大学	A2301	首都大学東京 (旧都立大学)	A1004	富山大学	A0036
青山学院大学	A2051	順天堂大学	A2070	な 長崎大学	A0073
秋田大学	A0012	松蔭大学	A2241	名古屋大学	A0043
麻布大学	A2346	上越教育大学	A0089	名古屋外国語大学	A2396
亜細亜大学	A2052	城西大学	A2037	奈良教育大学	A0056
い 茨城大学	A0015	上智大学	A2071	鳴門教育大学	A0095
岩手大学	A0009	湘南工科大学	A2338	南山大学	A2182
う 宇都宮大学	A0017	昭和音楽大学	A2337	に 新潟大学	A0035
え 愛媛大学	A0066	昭和女子大学	A2073	二松学舎大学	A2115
お 桜美林大学	A2055	女子栄養大学	A2075	日本体育大学	A2123
大阪大学	A0051	女子美術大学	A2076	日本大学	A2116
大阪大谷大学	A2216	信州大学	A0040	日本教育大学院大学	A2373
大阪教育大学	A0053	せ 成蹊大学	A2079	日本女子大学	A2121
大阪経済大学	A2205	星槎大学	A2388	日本女子体育大学	A2122
大阪市立大学	A1018	成城大学	A2080	日本福祉大学	A2183
大阪体育大学	A2213	清泉女子大学	A2082	は 白鷺大学	A2351
大阪府立大学	A1019	聖徳大学	A2343	ひ 兵庫教育大学	A0097
大妻女子大学	A2054	専修大学	A2084	弘前大学	A0008
岡山大学	A0061	洗足学園音楽大学	A2149	広島大学	A0062
岡山理科大学	A2253	仙台大学	A2018	ふ フェリス女学院大学	A2152
お茶の水女子大学	A0031	そ 創価大学	A2085	福井大学	A0038
か 学習院大学	A2056	た 大正大学	A2086	福岡大学	A2283
鹿児島大学	A0077	大東文化大学	A2087	福岡教育大学	A0068
鹿児島国際大学	A2295	高千穂大学	A2088	福島大学	A0014
神奈川大学	A2142	拓殖大学	A2089	佛教大学	A2199
神奈川県立保健福祉大学	A1078	玉川大学	A2090	文化学園大学	A2413
神奈川工科大学	A2341	多摩美術大学	A2091	文教大学	A2315
金沢大学	A0037	ち 千葉大学	A0020	ほ 法政大学	A2126
鹿屋体育大学	A0096	中央大学	A2092	放送大学	A2404
鎌倉女子大学	A2145	中京大学	A2173	北翔大学	A2411
関西大学	A2218	中部大学	A2175	北海道大学	A0001
関西外国語大学	A2220	つ 筑波大学	A0016	北海道教育大学	A0002
関西学院大学	A2232	津田塾大学	A2093	み 三重大学	A0046
環太平洋大学	A2382	都留文科大	A1007	宮城学院女子大学	A2024
関東学院大学	A2144	鶴見大学	A2150	宮城教育大学	A0011
き 畿央大学	A2369	て 帝京大学	A2094	宮崎大学	A0076
北里大学	A2057	帝京科学大学	A2390	宮崎公立大学	A2406
岐阜聖徳学園大学	A2348	帝京平成大学	A2357	む 武蔵大学	A2128
九州大学	A0069	田園調布学園大学	A2391	武蔵野大学	A2131
京都大学	A0048	電気通信大学	A0032	武蔵野音楽大学	A2130
京都外国語大学	A2187	天理大学	A2249	武蔵野美術大学	A2132
京都教育大学	A0049	と 桐蔭横浜大学	A2331	め 明治大学	A2133
京都産業大学	A2189	東海大学	A2095	明治学院大学	A2134
京都女子大学	A2190	東海学園大学	A2372	名城大学	A2184
共立女子大学	A2058	東京大学	A0021	明星大学	A2136
杏林大学	A2060	東京音楽大学	A2097	目白大学	A2407
近畿大学	A2332	東京外国語大学	A0023	も 盛岡大学	A2342
く 国立音楽大学	A2061	東京海洋大学 (旧水産・商船)	A0030	や 山形大学	A0013
熊本大学	A0074	東京学芸大学	A0024	山口大学	A0063
群馬大学	A0018	東京家政大学	A2098	山梨大学	A0039
け 慶應義塾大学	A2062	東京家政学院大学	A2099	よ 横浜国立大学	A0034
こ 工学院大学	A2063	東京経済大学	A2100	横浜商科大学	A2153
皇学館大学	A2185	東京芸術大学	A0026	横浜市立大学	A1005
高知大学	A0067	東京工業大学	A0028	り 立教大学	A2137
甲南大学	A2234	東京工芸大学	A2151	立正大学	A2138
神戸大学	A0054	東京女子大学	A2103	立命館大学	A2200
国学院大学	A2064	東京女子体育大学	A2105	琉球大学	A0078
国際武道大学	A2334	東京造形大学	A2107	龍谷大学	A2347
国土館大学	A2066	東京電機大学	A2108	わ 和光大学	A2139
駒沢大学	A2067	東京都市大学	A2414	早稲田大学	A2140
さ 埼玉大学	A0019	東京農工大学	A2109	短期大学	
佐賀大学	A0072	東京福祉大学	A2370	鎌倉女子大学短期大学部	B3365
相模女子大学	A2147	東京理科大学	A2111	昭和音楽大学短期大学部	B3368
産業能率大学	A2350	同志社大学	A2195	昭和女子大学短期大学部	B3301
し 滋賀大学	A0047	東北大学	A0010	帝京短期大学	B3316
至学館大学	A2415	東北学院大学	A2019	東海大学短期大学部	B3318
静岡大学	A0042	東北女子大学	A2013	横浜美術短期大学	B3374
実践女子大学	A2068	東北福祉大学	A2021	その他	
四天王寺大学	A2336	東洋大学	A2114	横浜高等教育専門学校	C6503

受験者カード記入例

31(2019)受験者カード (郵送申込用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でいねいに記入してください。

下欄の校種等・教科コード表から、4桁の数字で記入してください。

生年月日は、西暦で記入してください。
(例)平成9年9月2日生まれの場合は、「19970902」となります。
和暦と西暦の対応は、下欄の表を参考にしてください。

最終学校の学校欄は次の1～9の区分から1つ選び、数字で記入してください。

- 1 教員養成課程のある国立大学の教育系学部
- 2 国立大学(1を除く)
- 3 公立大学
- 4 私立大学
- 5 高等学校(大検・高認含む)
- 6 短期大学
- 7 指定教員養成機関等
- 8 大学院等(専攻科含む)
- 9 その他

最終学校の卒業欄は次の1～2のどちらかの数字を記入してください。

- 1 卒業(修了)
- 2 卒業(修了)見込

C#		校種等・教科				※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
G	A	1	0	1	2				

氏名(漢字で記入)			
姓	名		
11	20	21	30
神 奈 川	一 平		

漢字で姓名をそれぞれ記入してください。

氏名(カタカナで記入。濁点(・)、半濁点(゜)は1字として扱う)									
姓	名								
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
カ	ナ	カ	ワ						
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
イ	ッ	ヘ	。	イ					

生年月日					
年(西暦)		月	日		
57	58	59	60	61	62
1	9	9	7	0	9

最終卒業(修了)学校名を受験者カード裏面の学校コード表から選び、コード番号を5桁の記号で記入してください。
学校コード表に該当する学校名がない場合は、「99999」と記入してください。
また、学歴が複雑で最終卒業学校が特定できない場合も「99999」と記入してください。

最終学校コード					最終学校名
64	65	66	67	68	104
A	0	0	3	4	横浜国立大学

最終学校		卒業(修了)年月	
(ア)	(イ)	年(西暦)	月
105	106	107	108
1	2	2	0

都道府県	
113	114
1	4

最終卒業(修了)学校名を記入してください。

卒業(修了)年月を西暦で記入してください。
(例)2020年3月見込 → 「202003」

下欄の都道府県コード表から、自宅のある都道府県名コードを2桁の数字で記入してください。大学等で実家を離れている場合には、実家のある都道府県名コードを記入してください。

校種等・教科コード表

校種等	教科	コード
小学校	小学校全科	1012
	国語	2102
	社会	2202
	数学	2302
	理科	2402
中学校	音楽	2512
	美術	2522
	保健体育	2542
	技術	2552
	家庭	2562
	英語	2602
特別支援学校		4011
養護教諭		5042

校種等・教科コード表

校種等	教科	コード
高等学校	国語	3101
	地歴・公民(公民)	3221
	地歴・公民(日本史)	3251
	地歴・公民(世界史)	3261
	地歴・公民(地理)	3271
	数学	3301
	情報	3311
	理科(物理)	3411
	理科(化学)	3421
	理科(生物)	3431
	音楽	3511
	美術	3521
	保健体育	3541
	家庭	3561
	英語	3601
高等学校	工業(建設)	3751
	工業(機械)	3771
	工業(電気)	3781
	工業(デザイン)	3801
	工業(化学)	3821
	商業	3811
高等学校	農業	3841

都道府県コード表

都道府県名	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

都道府県名コード表

都道府県名	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
外国	99

参考

和 暦	西 暦
昭和64年	1989年
平成元年	1989年
平成2年	1990年
平成3年	1991年
平成4年	1992年
平成5年	1993年
平成6年	1994年
平成7年	1995年
平成8年	1996年
平成9年	1997年
平成10年	1998年
平成11年	1999年
平成12年	2000年
平成13年	2001年
平成14年	2002年
平成15年	2003年
平成16年	2004年
平成17年	2005年
平成18年	2006年
平成19年	2007年
平成20年	2008年
平成21年	2009年
平成22年	2010年
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年
平成31年	2019年
平成32年	2020年

平成 31 年 2 月 1 日
記者発表資料

先生、神奈川でまっています！

平成 31（2019）年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験について

この選考試験は、平成 32（2020）年度採用予定の神奈川県内（横浜市、川崎市、相模原市を除く）の市町村立の小学校、中学校、特別支援学校及び神奈川県立の高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員採用候補者を決定するために実施するものです。この試験について、以下の点についてお知らせします。

1 試験の概要について

(1) 試験日程

第1次試験 7月 14 日（日）
第2次試験 8月 5 日（月）～8月 23 日（金）までの間で実施予定

(2) 受付期間等

期 間 4月 24 日（水）～5月 20 日（月）
受 付 原則インターネット申込みとなります（一部の特別選考を除く）

(3) 受験資格

次の①～③の要件を全て満たす人

- ① 受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人、又は平成 32（2020）年 3 月 31 日までに取得見込みの人
- ② 年齢要件 昭和 35 年 4 月 2 日以降に出生した人
- ③ 地方公務員法第 16 条及び学校教育法第 9 条に規定する欠格事項に該当しない人

(4) 募集校種等・教科（予定）

校種等	教 科 （科 目）
小学校	
中学校	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校	国語、地理歴史・公民（日本史、世界史、地理、公民）、数学、情報、理科（物理、化学、生物）、音楽、美術、保健体育、家庭、英語、工業（建設、機械、電気、デザイン、化学）、商業、農業
特別支援学校	
養護教諭	

- ※ 中学校及び高等学校の教科(科目)は変更になる場合があります。4月中旬に発表する実施要項で御確認ください。
- ※ 上記の他に、神奈川県公立学校教員(神奈川県立特別支援学校における自立活動担当)採用候補者選考試験を実施します。自立活動担当の募集職種は、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士、看護師の予定です。

2 志願者説明会について

(1) 開催日程

日 時	募集定員	場 所
①平成31年4月13日(土) 午後2時～午後3時30分	60人	新潟大学 駅南キャンパスときめいと (新潟市中央区笹口1-1)
②平成31年4月13日(土) 午後2時～午後3時30分	200人	エル・おおさか (大阪市中央区北浜東3-14)
③平成31年4月13日(土) 午後2時～午後3時30分	80人	徳島文理大学 徳島キャンパス (徳島市山城町西浜傍180)
④平成31年4月13日(土) 午後4時～午後5時30分	200人	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス (仙台市宮城野区榴岡2-5-26)
⑤平成31年4月14日(日) 午後1時～午後2時30分	130人	八重洲博多ビル 11階 ホールA (福岡市博多区博多駅東2丁目18番30)
⑥平成31年4月14日(日) 午後2時～午後3時30分	200人	名古屋市立大学 桜山キャンパス (名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1)
⑦平成31年4月19日(金) 午後7時～午後8時30分	400人	横浜市開港記念会館 (横浜市中区本町1-6)
⑧平成31年4月27日(土) 午後2時～午後3時30分	800人	大和市文化創造拠点 シリウス (大和市大和南1丁目8-1)
⑨平成31年4月29日(月) 午後1時～午後2時30分	520人	横浜市神奈川公会堂 (横浜市神奈川区富家町1-3)
⑩平成31年5月6日(月) 午後2時～午後3時30分	1,000人	小田原市民会館 (小田原市本町1-5-12)

(2) 申込方法

会場の収容人数の関係により、募集定員を設けます。参加申込みは、4月2日(火)からインターネットで受け付けます。

問合せ先

神奈川県教育委員会教育局行政部教職員人事課

課長 館 電話 045-210-8133

教職員採用グループ 内藤 電話 045-210-8190

先生、神奈川で まっています！

志願者
説明会

神奈川県の教員を目指す方を対象とした志願者説明会を、全国10会場で開催します。
神奈川で先生として働く魅力や、試験の申込み方法などをお伝えします。ぜひご参加ください！

	会場	日 時	募集定員	場 所
1	新潟	平成31年4月13日（土） 午後2時～午後3時30分	60人	新潟大学 駅南キャンパスときめいと 新潟市中央区笹口1-1
2	大阪	平成31年4月13日（土） 午後2時～午後3時30分	200人	エル・おおさか 大阪市中央区北浜東3-14
3	徳島	平成31年4月13日（土） 午後2時～午後3時30分	80人	徳島文理大学 25号館メディアセンター 徳島市山城町西浜傍180
4	宮城	平成31年4月13日（土） 午後4時～午後5時30分	200人	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 仙台市宮城野区榴岡2-5-26
5	福岡	平成31年4月14日（日） 午後1時～午後2時30分	130人	八重洲博多ビル11階 ホールA 福岡市博多区博多駅東2-18-30
6	愛知	平成31年4月14日（日） 午後2時～午後3時30分	200人	名古屋市立大学 桜山キャンパス医学部研究棟 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
7	神奈川	平成31年4月19日（金） 午後7時～午後8時30分	400人	横浜市開港記念会館 横浜市中区本町1-6
8	神奈川	平成31年4月27日（土） 午後2時～午後3時30分	800人	大和市文化創造拠点 シリウス 大和市大和南1-8-1
9	神奈川	平成31年4月29日（月） 午後1時～午後2時30分	520人	横浜市神奈川公会堂 横浜市新神奈川区富家町1-3
10	神奈川	平成31年5月6日（日） 午後2時～午後3時30分	1000人	小田原市民会館 小田原市本町1-5-12

■内容

- 神奈川の教師になる魅力と求める人材について
- 教師という仕事の魅力について
- 神奈川の選考試験の概要（採用案内・実施要項等を配付します）
- 個別相談会（全体会終了後、希望者のみ）

■申込方法

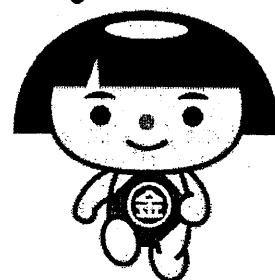
- インターネットによる申込み（電話やメールでの申込みはできません）
- 申込開始 平成31年4月2日（火）から

※ 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページよりお申込みください

神奈川県 教員採用試験

検索

まっています



■問合せ先

神奈川県教育委員会 教育局行政部 教職員人事課 教職員採用グループ
電話 045-210-8190

ホームページ

Facebook



校長

- ◆めざすべき校長像については、「学校経営力」を加えます。
- ※副校長、教頭には、校長の校務を補佐する役割として、校長に準じる役割が求められます。

学校経営力

専門家をチームとしてまとめる学校経営の実践

- 教育者としての強い使命感に基づくゆるぎない信念をもち、「かながわ教育ビジョン」の理念のもとに設定した学校教育目標の実現に向けて教職員をまとめ、指導している。
- 教職員や組織の適切な管理監督を行っている。
- 教職員個々のキャリアプランを見通し、教職員一人ひとりの意欲向上・人材育成に資する指導・助言を行っている。
- 開かれた学校づくりに向け、保護者や地域の方の意見を把握するとともに、学校に対する要望の実現に向けて努力している。
- 学校事故などの不測の事態に対し、強いリーダーシップをもって迅速かつ適切に、そして組織的に対応している。
- 適正な学校評価の実施に努め、評価結果を踏まえ、不断の学校運営の改善と発展を図っている。

神奈川県のめざすべき教職員像の実現に向けて

～ 校長及び教員の資質向上に関する指標 ～

【養成期】 出会い、学ぶ 【開発期】 学び、高める 【充実期】 学び、活かす 【発展期】 伝え、支える

養護教諭

- ◆「課題解決力」と「人格的資質・情熱」のほかに、「授業力」に代えて、保健管理と保健指導に必要となる専門的な力である「専門力」を加えます。

専門力

子どもに寄り添い、子どもの心身を守る学校保健活動の実践

- 保健管理と健康相談に必要な知識や技能を理解している。
- 子どもの実態に応じた保健指導について理解している。
- 保健に係る集団指導について、子どもが互いに協力し合える指導法を理解している。
- 学校保健計画や保健室経営計画、学校保健活動の基本を理解している。
- 適正な保健管理と子どもに寄り添った健康相談に取り組んでいる。
- 子どもの実態を把握し、適切な保健指導を実践している。
- 子どもの個性を理解し、保健に係る集団指導を実践している。
- 学校保健計画作成の中心となり、学校保健活動を円滑に実施し、評価している。
- 保健管理と健康相談の結果を同僚教職員と共有し、校内の学校保健活動や教育相談活動の充実を図っている。
- 適切な保健指導を実践し、子どもの健康と成長を支えている。
- 同僚教職員と協力し、保健に係る集団指導を実践している。
- コーディネーター的な役割をもち、同僚教職員と学校保健活動全体をけん引している。
- 保健管理と健康相談を踏まえた協力・連携のもと、円滑な学校運営に寄与している。
- 適切な保健指導を実践し、子どもの主体的な健康づくりにつなげている。
- 保健に係る集団指導を通じて、様々な学校活動を活性化している。
- より充実した学校保健活動に向け、同僚教職員の円滑な参画を促している。

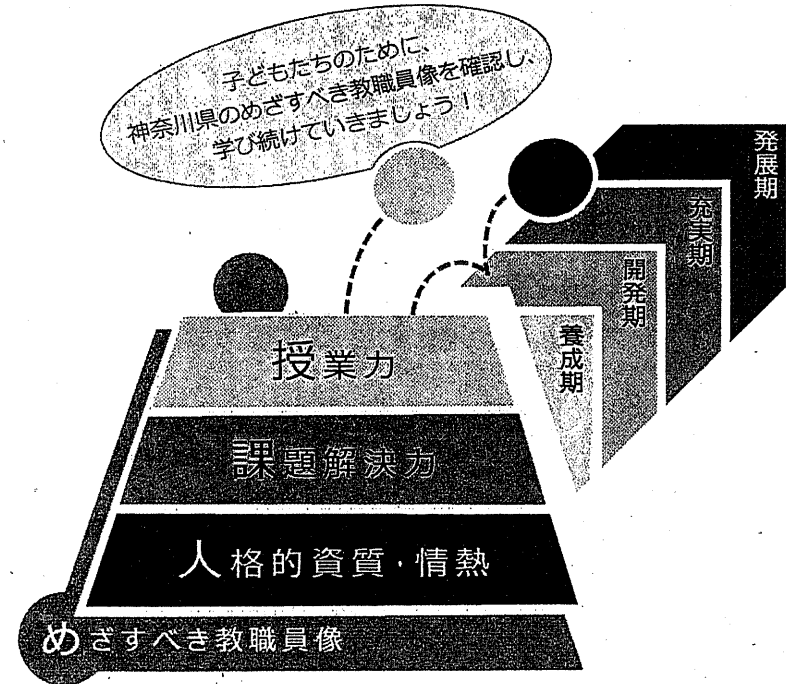
栄養教諭

- ◆「課題解決力」と「人格的資質・情熱」のほかに、「授業力」に代えて、給食管理と食に関する指導に必要となる専門的な力である「専門力」を加えます。

専門力

健やかな心身と豊かな人間関係を育む食に関する指導の実践

- 給食管理や食に関する指導に必要な基本的知識や技能を理解している。
- 子どもの現代的な健康課題を理解し、その対応に必要な専門性を理解している。
- 学校における食育の中核的な役割としての重要性を理解している。
- 給食管理や食に関する指導に必要な知識や技能を身に付け、常に学び続けている。
- 子どもの現代的な健康課題を理解し、その対応に必要な専門性を発揮している。
- 学校における食育での中核的な役割を理解し、取り組んでいる。
- 子どもの現状と課題を踏まえ、給食管理に加えて、学校教育活動の一環として食に関する指導を展開するため、校内で中核的な役割を果たしている。
- 社会変化に対応し、最新の食に関する知見を収集し、学校における食育の推進を果たしている。
- 給食管理や食に関する指導について、主体的に学校運営に関わる意識や実践的指導力をより一層高めている。
- 学校内外の関係者と連携し、食育推進のコーディネーターとして中核を担っている。



神奈川県教育委員会では、本県の教育の総合的指針である「かながわ教育ビジョン」の重点的な取組み「Ⅵ. 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり」を推進するため、「教職員人材確保・育成計画」の中で、神奈川県における「めざすべき教職員像」を明らかにしています。

神奈川県のめざすべき教職員像の実現に向けて

開発期から発展期のどの段階に該当するかについては、標準的なものを示しています。

めざすべき教職員像

【わかりやすい授業】
わかる喜びが実感できる「主体的・対話的で深い学び」につながる授業

13の教職員像について、
ステージごとに
学び続けていきましょう！

授業力

子どもが自ら取り組み、
【わかりやすい授業の実践】

指導力

課題解決力

子どもや社会の変化による課題の把握と解決

【養成期】 出会い、学ぶ

主に、教職課程で学ぶ学生

教職と出会い、学校と出会い、
教師という仕事に触れるとともに、
教育の歴史・制度について学び、
教職に対する理解や認識をもつ。

【養成期から発展期までのすべての時期に共通して身に付けるべき項目】

「カリキュラム・マネジメント」を踏まえた、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて理解を深め、推進している。

教科指導に必要な知識や子どもの意欲を引き出す指導法を理解している。

わかる喜びを与える子ども主体の授業づくりと学習評価の基礎、校種間の教科の系統性を理解している。

学級担任や教科担任の役割や基本的な仕事内容について理解している。

学習指導案作成や教材作成の基本的な手法について理解している。

【開発期】 学び、高める

主に、教職経験5年程度までの教員

教師という仕事に向き合い、
あるべき姿や役割について、
学びながら指導力を高め、
信頼される教職員をめざす。

発達段階や生徒の実態に応じた指導法を身に付け、学習意欲を高める工夫をしている。

校種間の教科の系統性を踏まえ、子どもの実態に応じた教材・指導法による授業を行い、学習評価を指導の改善に生かしている。

子どもの個性を理解し、互いに認め合い高め合える学級集団を育てている。

常に自ら学び続け、校内研修に積極的に参加して、授業改善に努めている。

【充実期】 広げ、分かち合う

教職経験5～20年（約45歳）程度の教員

様々な教育活動を通して視野を広げ、
経験を同僚教職員と共有するなど、
学校運営の中核的な存在として、
より良い学校づくりを進める。

学習意欲を高める授業を実践し、同僚教職員と共有し、改善を図っている。

指導と評価の一体化のもと、子どもの実態を踏まえた授業研究を行い、その成果を校内で共有している。

学級や学年を越えて、同僚教職員と協力し、望ましい学級を育てている。

同僚教職員と授業研究を主導し、校外の研究発表を授業改善に生かしている。

【発展期】 伝え、支える

教職経験20年（約45歳）以上の教員及び管理職

学校づくりや教育活動をリードし、
同僚教職員・部下教職員の模範となり、
リーダーシップを発揮し、
学校を動かす。支え、発展させる。

学習意欲を高める指導法について、学校全体で共有を図り、授業研究を推進している。

指導と評価の一体化を踏まえた組織的な授業改善を推進している。

学校全体の子どもの実態を把握し、組織的な支援体制を構築している。

自校の教育目標に基づく授業研究を推進し、その成果の校内外での活用を中心となっている。

管理職については、向上をめざす姿勢として、授業力に努めている。

【養成期から発展期までのすべての時期に共通して身に付けるべき項目】

新たな課題や教育的ニーズを自ら把握し、神奈川の支援教育やインクルーシブ教育等について理解し、推進している。

○ 子どもをよく理解し、多様な教育的ニーズに対して適切に対処・指導できる

○ 得意分野をもち、個性豊かで、連携・協力しながら指導できる

○ 豊かな創造力をもち、新たな課題へ積極的に挑戦する意欲や実行力をもっている

○ 教職員全体と協力し、学校全体を意欲しながら組織的に取り組むことができる

○ 保護者、地域の人々と協力して取り組むことができる

子どもの発達段階とその特徴や、カウンセリングマインドについて理解している。

自分の得意分野を理解し、その向上と教育への活用について考えをもっている。

教育における新たな課題や動向に関心をもち、理解している。

教職員全員がチームとして機能する際の留意点と期待される効果について理解している。

保護者や地域の人々、心理や福祉等の外部専門家との連携・協働の重要性を理解している。

教育的ニーズに応じた指導法を学び、カウンセリングマインドをもって子どもに寄り添い適切に対処している。

個々の特性に応じた能力を高め、組織の中で有効に役立っている。

豊かな創造力とともに、新たな課題へ挑戦する意欲をもっている。

研修や同僚教職員から積極的に学び、校内の課題に対して当事者意識を持って対応している。

保護者や地域の人々、心理や福祉等の外部専門家との連携・協働を意識し、機会を捉えて実践している。

教育的ニーズに応じた指導法を同僚教職員と共有し、校種間で共有した情報を効果的に活用している。

自身の高めた能力を効果的に発揮して、同僚教職員と協力して子どもの指導にあたっている。

学校全体の課題に挑戦し、その解決に向けて積極的に取り組んでいる。

経験の浅い教職員にメンター的役割を果たし、教職員集団の成熟に努めている。

保護者や地域の人々、心理や福祉等の外部専門家と学校との相互理解を図り、組織的に連携・協働している。

学校全体の教育的ニーズを把握するとともに、校種間連携の主体となり、組織的に子どもの支援を推進している。

自身の能力にさらに磨きをかけ、これを活用して組織を動かす、学校運営を円滑に進めている。

新たな教育課題を理解し、学校における組織的な取り組みをけん引している。

教育力の継承に向けて、OJTの推進を図るとともに、企画・調整の力を発揮して、組織をまとめている。

保護者や地域とネットワークを築き、地域に根ざした学校づくりを行っている。

人格的資質・情熱

教職員としての人格的資質・教職への情熱

【養成期から発展期までのすべての時期に共通して身に付けるべき項目】

子どもの人権に関わる諸課題について問題意識をもち、家庭・地域や関係機関、異校種の学校等と連携しながら人権教育を推進している。

○ 豊かな人間性と社会性、高い対人関係能力とコミュニケーション能力をもっている

○ 子どもへの教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもっている

○ 高い倫理観をもち、公平・公正に行動できる

○ 変化に対応し、学び続ける向上心をもっている

社会人としてのマナーを身に付け、他者を共感的に理解している。

子どもに対する愛情と、教職に対する使命感や情熱をもっている。

教育公務員として必要な法令や規則を知り、法令遵守を理解している。

自ら学ぶ姿勢をもち、必要な情報を収集し、身に付けている。

社会人として必要な人間性を有し、他者との信頼関係を築いている。

教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもち、子どもの成長をイメージしながら指導している。

教育公務員としての使命を自覚し、法令や規則を遵守して、不祥事防止に努めている。

日々の教育活動を振り返り、自己研鑽に努め、自主的に学び続けている。

教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織をつくっている。

使命感と誇りを同僚教職員と共有し、組織的に子どもを支援している。

危機管理意識をもち、不祥事防止に関して同僚教職員の模範となっている。

日々研鑽に努め、その成果を同僚教職員にも広げている。

風通しのよい職場環境を築き、組織的に教育力の向上を図っている。

子どもの成長を第一に考え、学校運営において先導的役割を果たしている。

高い危機管理意識をもち、不祥事防止や事故等発生後の対応に組織的に取り組んでいる。

子どもや社会の変化を意識し、広い視野をもって学校づくりを行っている。